

ぼくの学校、わたしの学校

市内の小・中学校を児童・生徒のみなさんがPR!

現原小学校



共に学び合い心豊かにたくましく生きる児童の育成

- ◆所在地 行方市芹沢 1071 番地 2 ◆電話 0299-55-0359
- ◆学校長 醍醐 孝昭 ◆職員数 17 人 ◆児童数 141 人
- ◆開校日 明治 22 年 10 月 20 日



縄跳びも得意です

読書・あいさつ、水泳や縄跳びも得意です!
現原小学校は、周囲に緑が広がる豊かな自然に恵まれた学校です。本校は学校教育プランごとに「学校の自慢づくり」に取り組み、成果をあげています。1つ目の自慢は「全校児童が1年間に50冊以上の本を読んだこと」です。毎朝の読書の時間には、1年生から6年生まで集中して読書に取り組んでいます。2つ目の自慢は「学校から認定された『あいさつ名人』が20人以上いること」です。名人になっていない児童も、すすんであいさつが出来るようになっていています。3つ目の自慢は「3年生以上の児童全員が泳げること」です。水泳以外では、縄跳びも得意で「はやぶさ」や「三重跳び」が出来る子がたくさんいます。

本校には、学校と保護者、地域の方々がふれあえるいくつかの行事があります。7月には子ども会育成会が主催する「あらはらまつり」を行っています。育成会のお父さん、お母さん方による夜店やバザーをはじめ、マジックショーや玉里太鼓の演舞などのイベントが開催されます。今年度は、地域の区長さん方による楽しいじゃんけん大会もありました。また、11月には「地域交流もちつき大会」を行っています。児童が種まき、田植え、稲刈りを行った餅米で餅をつきます。子どもたちは、杵を持つての餅つきや餅を丸める体験をします。これらの行事には、地域の方も多数参加してくださり、児童と地域の方々との交流を深めるよい機会となっています。



地域交流もちつき大会

学校と保護者、地域の方々とのふれあい



風間可奈子さん(4年)

学校で昼休みに友だちと縄跳びをすることが楽しいです。

現原小では、ジャンプ台を使って「三重跳び」と「はやぶさ」の大会があります。私はまだ練習中なので、賞状がもらえるように頑張りたいです。



石川 潤奈さん(5年)

学校の自慢はみんなすすんで明るいあいさつが出来るとことです。

私の学校では毎日すすんであいさつをすると、あいさつ名人カードがもらえます。なのでみんないつもすすんであいさつをしています。

◆編集後記◆

今月号の表紙は北浦幼稚園の豆まき。特殊メニューを施した鬼たちが現れると、園児たちが2班に分かれ、力いっぱい豆をまきました。毎年、保護者の協力で行われる恒例行事。「福は内、鬼は外」のかけ声に、春の訪れを感じました。(保) 「ずっと健康でありたい」、漠然とそう思っただけでも、日々の生活習慣を見直すのはなかなか難しいものです。現実を知り、自分の身体と向き合うことが大切なのだと思身再認識しました。まずはみなさん、健診に行きましょう。(友)

ROOKIE

市内で頑張るフレッシュな人を紹介していきます!

岡里さん

(のぞみ幼稚園)

幼稚園教諭として4歳児年中組の担任をしています。元気な子供たちと笑ったり泣いたり、様々な体験を



しています。大変なこともありませんが、生まれ育った行方市で保護者の方々と一緒に子どもたちの成長を見ることがとても楽しく、嬉しく思っています。これからも子どもたちと一緒に成長していきたいです。